

## スマートフォン・クラウドセキュリティ研究会(第1回)議事要旨

### 1. 日時

平成23年10月19日(水) 10:00~11:50

### 2. 場所

総務省第一会議室(10階)

### 3. 出席者

#### (1) 構成員(敬称略)

奈良先端科学技術大学院大学 山口英(座長)  
富士通(株) 井上栄(塩崎構成員代理)  
KDDI(株) 内田義昭  
(株)NTTドコモ 蝦名和仁(阿佐美構成員代理)  
国立情報学研究所 岡村久道  
ソフトバンクモバイル(株) 桑原正光(丹波構成員代理)  
(株)インターネットイニシアティブ 齋藤衛  
日本電気(株) 佐古和恵  
NTTコミュニケーションズ(株) 菅原英宗  
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ(株) 竹内正樹  
(株)日立製作所 寺田真敏(瀬野尾構成員代理)  
情報通信研究機構 中尾康二  
(株)ラック 西本逸郎  
パナソニック・モバイルコミュニケーションズ(株) 萩原英二  
総務省 情報化統括責任者(CIO)補佐官 三輪信雄  
シャープ(株) 柳内繁信(大島構成員代理)

#### (2) オブザーバー

経済産業省商務情報政策局  
江口情報セキュリティ政策室長、関根情報家電戦略室長

#### (3) 総務省

松崎副大臣、佐藤政策統括官、阪本大臣官房審議官、  
黒瀬情報流通振興課長、佐藤情報セキュリティ対策室長、  
中谷情報セキュリティ対策室課長補佐

### 4. 議事

#### (1) 開会

#### (2) 松崎副大臣あいさつ

- (3) 構成員の紹介
- (4) 本研究会開催要綱の承認
- (5) 議事の公開及び議事録の取扱い
- (6) 座長の選任
- (7) 座長あいさつ
- (8) 議事
  - (i) 「スマートフォン・クラウドセキュリティ研究会」の当面の検討事項及びスケジュール
  - (ii) スマートフォンに関するセキュリティ対策の現状及び課題の整理
  - (iii) その他
- (9) 閉会

## 5. 会議概要

- (1) 本研究会の開催要綱、議事の公開及び議事録の取り扱いについて、承認された。
- (2) 山口構成員が座長に選任された。
- (3) 総務省から、スマートフォンのセキュリティについて検討が必要となった背景及びこれまでに他の研究会等で検討された事項について説明を行った後、本研究会で取り上げるべき当面の検討事項及び今後の検討スケジュールの案について説明を行った。
- (4) 各構成員から提出のあったスマートフォンセキュリティに関する各社の取組及び問題意識に関する資料を踏まえ、課題抽出を行う議論が行われた。構成員から指摘があった事項のうち、主なものは以下のとおり。
  - (ア) スマートフォンをめぐる状況変化の認識
    - ・従来の国内携帯電話事業者を中心とした垂直統合型のビジネスモデルから、OS部分の管理を外国企業が担う体制へのパラダイムシフト。
    - ・通信量の増大に伴い、近い将来、通信帯域がひっ迫するおそれ。
    - ・1台のスマートフォン端末への多様な機能の集積（電話、通信、GPS、カメラ、動画、録音、PC並みの情報処理機能等）により、個人情報漏えいリスクやプライバシー上の懸念が増大。
    - ・各年齢層への急速な普及に伴い、リテラシーの十分でない利用者が増加。
    - ・スマートフォン向けマルウェアが出現。
    - ・スマートフォンを通じたクラウドサービスやSNS利用が普及。
    - ・ビジネスの場面において、私物端末の業務利用の実態が先行。
    - ・開発者情報や信頼性が明らかでないアプリケーションが一部に流通。

(イ) 検討すべき課題

- ・ 利用者のリテラシー向上のための普及啓発策
- ・ 利用者による自衛策（マルウェア対策ソフトの導入、ソフトウェアのアップデート、審査を行っているアプリケーション配布サイトの利用、ソーシャルハッキング対策等）
- ・ 3G 回線から無線 LAN への通信経路の移行に伴うセキュリティ上の課題
- ・ マルウェア対策ソフトの有効性と限界
- ・ アプリケーション提供サイトにおける審査等の運用
- ・ 端末のセキュリティ強化
- ・ 企業、研究機関等間のインシデント情報共有等の連携方策

(5) 構成員からの指摘事項のうち、本研究会で議論すべき事項について、次回会合にてさらに詳細を議論することとされた。

以上